

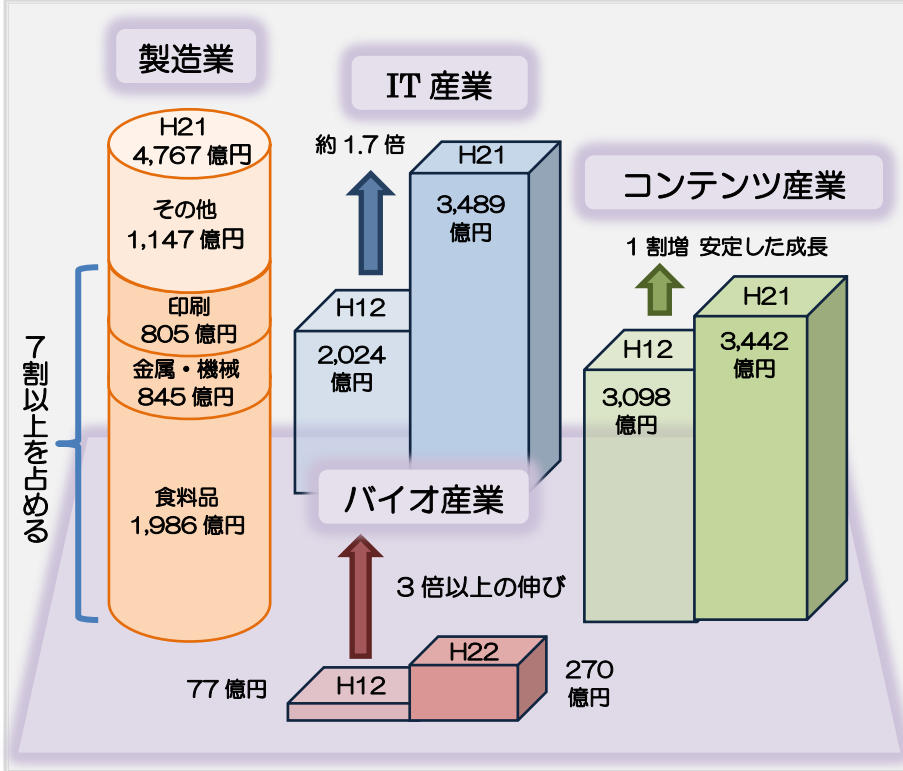
～基本理念～

多様な**連携**を通じた新たな価値の**創造に挑戦**するものづくり企業の創出  
**Collaboration Creativity Challenge**

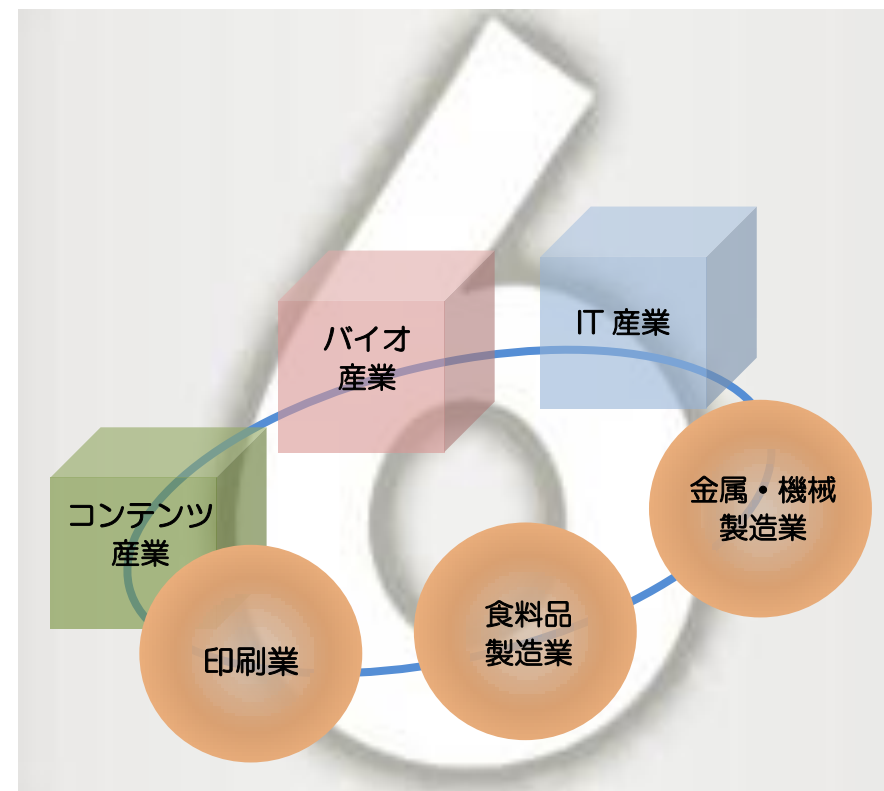
◆ 基本方針

- 1 多様な連携体制の構築**
  - 企業が大学・試験研究機関や異業種との連携に取り組みやすい環境の整備
  - 北海道や道内主要都市との連携体制を活用し、企業活動を活性化
- 2 企業の創造性の活用**
  - 新たなニッチトップ・オンリーワン企業の創出
  - 創造性を活かした地域ブランドの育成
  - 文化芸術など、札幌ならではの魅力を活かした企業活動を促進
- 3 新たな市場への挑戦**
  - 成長著しいアジアを中心とする海外販路の拡大
  - 新たな需要の創出や市場拡大が期待される「環境エネルギー分野」や「健康・福祉分野」に挑戦する企業への支援
- 4 戦略的な企業・人材誘致**
  - 周辺市町村との更なる連携強化を図り、札幌圏一体での誘致活動を実施
  - 高い技術や多彩なネットワークを持つ人材の誘致
- 5 中小企業の経営基盤強化**
  - 人材育成支援や経済状況に応じた融資制度の充実
  - 創業に挑戦する人を対象に、各段階に対応した支援策の実施

◆ 札幌型ものづくり産業



◆ 主要6産業



◆ 主要6産業の現状と施策展開

産業	【現状】	【施策展開の方向性】	【具体的な施策の例】
食料品製造業	【現状】 高いブランド力を誇る製品も開発されているが、北海道の良質な一次産品が素材として道外に出荷され、道外で加工されている事例も見受けられる	【施策展開の方向性】 道内の1次産業者との連携を促進し、6次産業化を推進するとともに、マーケティング力の強化を図る。また、国内外への販路拡大に向けた支援を行う	【具体的な施策の例】 ・食の安全・安心によるブランド化 ・道内1次産業者とのマッチング ・輸出に適した商品づくりに対する支援 ・東アジアでの物産展・見本市・商談会の開催
金属・機械製造業	【現状】 出荷額の多くを占める建設業用金属製品の需要が低迷しているが、中には、国内でトップシェアを誇るニッチトップ企業も存在している	【施策展開の方向性】 新製品・新技術の開発支援に加え、道内の1次産業者や異業種との連携を促進し、新たな需要を掘り起す	【具体的な施策の例】 ・大企業や大学などの開放特許を市内中小企業に移転する仕組みの構築 ・食料品製造業者や農業者、漁業者などとのマッチング ・新製品・新技術の開発への補助
印刷・コンテンツ産業	【現状】 印刷業は、主に紙媒体で、コンテンツ産業は、文章、音楽、画像、映像などで、製品やサービスの情報・価値を伝える産業であり、他産業の活動を支援することで自らが発展するという共通の特徴をもっている	【施策展開の方向性】 印刷業とクリエイターの連携を促進し、付加価値の高いサービスを提供できるよう支援する他、コンテンツ産業を活性化し、創造都市さっぽろの実現を目指す	【具体的な施策の例】 ・印刷業とデザイナー等とのマッチング ・札幌コンテンツ特区の取り組み ・映像産業に携わる人材の育成 ・東アジアへの映像コンテンツの販路開拓
IT産業	【現状】 「サッポロバレー」と呼ばれるほど集積が進んでいるが、受託開発が6割を占め、また、企業規模が小さく、大きな案件を受託できない傾向にある	【施策展開の方向性】 技術力や営業力の向上支援を行うとともに、顧客ニーズに合ったサービスの開発を促進する。また、協業化への取組を支援	【具体的な施策の例】 ・営業力や企画・提案力を強化する研修 ・産業振興ビジョンに定める重点4分野などとのマッチング ・札幌市の行政システムの再構築を活用した協業体制構築
バイオ産業	【現状】 ベンチャー企業でありながら、国内外の大手製薬会社とライセンス契約を締結する企業も現れているが、機能性評価を行う設備・資金が不足している	【施策展開の方向性】 「Bio-S」を活用して蓄積した研究成果などを、実用化・事業化する取組を推進する。また、医療・医薬分野の首都圏や海外への販路拡大を支援する	【具体的な施策の例】 ・機能性評価・分析手法の事業化・実用化を図り、機能性素材等の開発を促進 ・札幌市エレクトロニクスセンターの一部を改修し、研究開発の場を提供 ・国内・海外販路の拡大支援

◆ 数値目標

●食品製造業の付加価値額	691億円 (H21)	10%UP ⇒	760億円 (H27)	●IT産業の売上高	3,489億円 (H21)	10%UP ⇒	3,840億円 (H27)
●印刷業の付加価値額	412億円 (H21)	10%UP ⇒	450億円 (H27)	●バイオ産業の売上高	270億円 (H22)	70%UP ⇒	460億円 (H27)
●金属・機械製造業の付加価値額	379億円 (H21)	10%UP ⇒	420億円 (H27)	●コンテンツ産業の売上高	3,442億円 (H21)	10%UP ⇒	3,790億円 (H27)